

ロボットティーチング不要の自動化システム “MA(MILL ASSIST)シリーズ”

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎高嗣、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、立形マシニングセンタ・5 軸加工機用自動化システム「MA(MILL ASSIST)シリーズ」を開発、販売を開始します。

昨今、人手不足の解消や生産性向上を目的とした自動化ニーズが各産業で高まっています。一方、自動化システムの導入にはロボットやプログラミングなどの専門知識が求められます。また導入時だけではなく、運用時にも外部システムインテグレータの手配が必要となる場合があり、特に小規模企業においては自動化システム導入の障害ともなっています。このような背景を踏まえ、当社は誰でも簡単・迅速にセットアップが可能な旋盤・複合加工機用自動化システム「TA(TURN ASSIST)シリーズ」を2018年に発表、これに続いて立形マシニングセンタ・5 軸加工機用自動化システム「MA シリーズ」を今回新たに開発しました。

MA シリーズは、アームロボットとストッカ、専用ソフトウェアで構成された自動化システムです。当社製の立形マシニングセンタ(VCN・VTC シリーズ)と5 軸加工機(VARIAXIS C シリーズ)に対応、素材の搬入から完成品の搬出までを自動化します。

システムの立ち上げは、専用ソフトウェアに従い必要情報を入力するだけで完了します。煩雑なロボットティーチング作業は不要であり、生産開始までのリードタイムを大幅に短縮します。ストッカは素材と完成品の多段積みが可能であり、一度の段取りで長時間の無人運転を実現します。

また、MA シリーズはワンユニット化された自動化システムであるため、市販のハンドリフトで簡単に移動させることが可能です。移動後は MA と工作機械本体の位置調整を行うだけで据付けが完了するため、新規設置時のみならず工場レイアウト変更にもともなう機械移設にも柔軟に対応します。

当社はすでに好評頂いている「TA シリーズ」や多段パレットストッカシステム「MPP シリーズ」に、今回販売を開始する MA シリーズを加えた自動化システムのラインアップで、単体機の自動化ニーズに対応したソリューションを提供していきます。



MA シリーズと立形マシニングセンタ(VCN-430A)との接続例

掲載されているプレスリリースは、報道関係者へ発表した情報の要約です。
予告無く内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
